

第5回新市庁舎のあり方に関する市民会議 (概要報告)

日時	令和4年10月29日(土) 午後1時30分～4時30分
場所	盛岡市勤労福祉会館大ホール
参加者	22人
テーマ	これまでに振り返り、市に提案しよう
アドバイザー	岩手大学理工学部教授 南 正昭さん
ファシリテーター	ネクステージ 代表 大高 智佳子さん 株式会社赤澤号 赤澤 徳俊さん

「第5回新市庁舎のあり方に関する市民会議」が、10月29日(土)に開催されました。

22人の皆さんの参加をいただき、「これまでに振り返り、市に提案しよう」をテーマに、活発な意見交換が行われました。

市民会議は、11月まで計6回の会議を予定しており、第6回は、11月12日(土)に報告会として開催予定です。

第5回市民会議の概要をお知らせします。

市民会議の趣旨

盛岡市役所の本庁舎は、建設後60年を経過して老朽化が進むなど、新市庁舎のあり方を考えていかなければならない時期にきています。今後、庁舎の課題や希望について広く市民の皆さんの意見を伺いながら検討を進めるため、市民会議を開催することとしました。

市民会議は、ワークショップ形式で意見を出し合い、新しい市庁舎のあり方や希望などを整理します。結論を導き出すことを目的とはせず、さまざまな可能性を広く考えます。ここで整理された意見などは「有識者等懇話会」で発表する予定としています。

1 会議ルール説明

ファシリテーターの大高さんから、会議の進め方やルールを説明した後、各グループ内で自己紹介をし、役割分担(進行係、発表係、記録係、パソコン係など)をしました。

また、会議のルールとして、相手の意見を否定することなく、互いの意見を尊重しあうことを確認しました。



(アドバイザー南さん)



(ファシリテーター大高さん)



(ファシリテーター赤澤さん)

2 グループワーク

第1回～第4回市民会議の各テーマごとに4グループを形成し、担当するテーマについて振り返りながら、報告会の発表原稿を作成しました。



3 報告会の発表リハーサル

作成した原稿をもとに報告会の発表リハーサルを行いました。

発表の内容は、第1班が今の市庁舎のよいところと課題の整理、第2班が新市庁舎に求める理念や機能、第3班が未来の市役所窓口のあり方、第4班が新市庁舎の立地条件や整備エリアに関する意見について、丁寧にまとめられました。



4 アドバイザー講評

各グループの発表について、アドバイザーの南さんから講評をいただきました。

「取りまとめ」というハードルの高い作業でしたが、皆さんに一生懸命取り組んでいただきました。議論をしながら、盛岡の素晴らしさや魅力を伝えていただいている気がしました。

第1班テーマ「今の市庁舎の課題を整理しよう」

今の市庁舎のよいところと課題を対比させる方法を取り、分かりやすく整理し、よくまとめられていました。新市庁舎を考える次のステップのためにとっても参考になりました。

第2班テーマ「こんな市庁舎だったらいいな」を考えよう

行政が新しいことを始める際に作るマスタープランのように、新市庁舎の目標や方針をしっかりとまとめていました。今後の一つの重要な柱になると思います。

第3班テーマ「市役所窓口の未来を想像（創造）しよう」

大きな指針や方向性を示してくれました。皆さんが同意するような優しい言葉を使いながら、利用者目線の考え方を具体的にまとめていました。

第4班テーマ「求められる市庁舎のかたちを考えよう」

肝となる部分を押さえながら冷静な分析をしていました。賛否のあるテーマでありながら、立地条件に関する項目を整理しながら、客観的な軸を整理していただきました。

市民会議を通して、盛岡の実力のようなものを見せていただきました。50年、100年先を見据えた市庁舎を作っていくためにたくさんの大切な言葉をいただきました。

新市庁舎が完成して皆さんが利用する時に、市民会議で発した言葉がキラキラと光り輝いていることを望みます。

